

夏場に流行しやすくなるウイルス感染症として、プール熱で知られるアデノウイルス感染症、またヘルパンギーナや手足口病で知られるコクサッキーウイルス感染症などがあります。

ヘルパンギーナ

39 前後の発熱があり、咽頭、口内粘膜、舌などに小さい水疱性の潰瘍ができ食事などで痛みがでます。夏場、幼児に多く平均して4-5日で改善します。病因はコクサッキーA群ウイルスで、治療は発熱に対する対症療法が主体で水分補給や解熱剤を用いることもあります。食事は牛乳や刺激の少ない流動食がよく、醤油などのしみるものや刺激物は避けた方が良いでしょう。

急性期から回復期まで便中にウイルスが排出されますが、咽頭にウイルスがいて増殖している間の飛沫感染が主な感染経路です。全身症状が安定した状態での登園(校)可能です。

同じコクサッキーウイルスA群(A16/A10)やエンテロウイルス71などの感染で口腔粘膜や四肢末端に水疱性発疹の現れる疾患に手足口病があります。乳幼児を中心に初夏から秋にかけて多く見られ、発疹初期に軽度の発熱をみることもあります。潜伏期は1-5日で、発疹以外は無症状あるいは口腔内の発疹に疼痛を伴う程度で数日間のうちに自然治癒する基本的には予後良好な疾患です(3-7日で治癒)。

プール熱(アデノウイルス感染症)

アデノウイルスには多くの血清型(49型)があり、3、4型による咽頭結膜熱、7型による上気道炎(高熱の持続で細菌性感染症に似ている)、8型による流行性角結膜炎、40、41型による胃腸炎、11型による出血性膀胱炎などがよく見られます。咽頭結膜熱は主として夏場に主に幼児に流行し、咽頭扁桃炎、結膜炎、発熱を三大症状とするアデノウイルス感染症で、3型は夏にプールを介して流行すること

がありプール熱と呼ばれています。

咽頭痛が強いので水分補給(スポーツドリンク、牛乳など)とともに刺激の少ない食物(アイスクリームやプリン、冷ましたお粥など)を食べさせるようにしましょう。ジュースなど酸っぱいものは痛みが強くてです。

症状が改善してから2日後までは登園(校)を停止とします。



手足口病の水疱



ヘルパンギーナの咽頭

病気のはなし No.2 でも伝染性紅斑・プール熱について説明しています(ホームページで見ることができます)。



お尋ねになりたいことはご連絡ください

また、色々な病気のお話などむらかみクリニックのホームページに掲載していますのでアクセスしてみてください。

http://www.h5.dion.ne.jp/~m_clinic/

院長